

楽踊楽座 全国行脚 記録

行脚 No.37

日時	2013年9月29日
行脚先	西蓮寺
住所	大分県中津市寺町（豊前国）
行事名	

特徴

西蓮寺は、天正16年(1588年)に光心師によって開創されました。
以来420年以上の長きに亘り、現二十代住職までこの地で法灯を伝えています。
現在の本堂は天保14年(1844年)に再建されたもので、金剛棟札を見ると発起人は8歳の童子「播磨屋助次郎」とあります。
この童子が山国川から小石を運び、立派な本堂を建てる用意をしていることを聞き、総代・小畑親民は深く感激し、再建に尽力しました。
この本堂は、再建当時藩主であった第八代奥平昌服公がお茶会を催した場所でもあります。

黒田官兵衛との関わり

開基・光心師の俗名は「黒田市右衛門」といい、黒田官兵衛の甥です。
父・黒田美濃守職隆の逝去時に出家しました。
黒田官兵衛が播州より豊前中津に入国の際、兄・官兵衛の御徳を慕って共に中津に入り、天正16年(1588年)寺町に西蓮寺を建立し、初代住職となりました。

記録

